

阿部耕一さんと年金の基礎を学びましょう 《息子と父の問答編》 第9回 「新救済策」ってどんな内容なの

息子 前回「問題がある」という内容は何なの？
 父 政府が昨年12月に、保険料を2年分払えば前の未払い分の期間を保険料納付済みとして国民年金にプラスするとの回答を出したんだよ。そして、今まで払ってきた人たちは「不公平だ」と不満が出たんだ。さらに、これは「国会を通過していない内容だ」と問題になり、国会が紛糾したんだ。それで今年の3月に「従来通り年金期間に加えるが(25年の枠)金額にプラスしないカラ期間方針案と時効にとらわれない保険料の追納が可能だ」という新救済策を発表して、大臣が給料を返納して責任をとったんだよ。

でも、この内容は厚生省の課長級が結論を出して、大臣の指示を受けなかったとの発表があったんだよ。大臣がコロコロ変わるので大臣もそのポストにいても勉強する時間がないみたいだね。

それはそうと、カラ期間という言葉が出てきたね。これは難しいから今度詳しく説明するね。

はちのへ九条の会：憲法とTPP問題を考えるつどい TPPが及ぼす農林漁業への影響

《東日本大震災・原発問題以降の地域再建を考える》
 講師 神田 健策 氏 (弘前大学教授)

とき 8月20日(土)
13:30~16:00

まだ間に合います あなたも参加を

第25回日本高齢者大会 in 青森が 9月12日(月)~13日(火)青森市で開かれます。
 年金者組合三八支部は、たくさんの組合員の参加を呼びかけています。記念講演、豊富な分科会、学習講座、うたごえや民謡酒場など楽しめる夜の企画もあります。1泊2日の日程に参加し、全国の高齢者の情熱を感じてみませんか。
 1人 3,000円プラス1日目の夕食と2日目の昼食代で間に合います。参加費、交通費、宿泊代に補助が出ます。希望者は役員におたずねください。

支部委員

- 淡路 正彦
- 池田 仁美
- 一山 義夫
- 一山 鈴夫
- 内田 弘志
- 海野 岩雄
- 小笠原 忠志
- 小谷地 榮
- 桜田八重子
- 笹垣 茂美
- 佐々木キミ (新)
- 佐々木秀雄
- 戸狩 一典 (新)
- 豊川 義則
- 中村 幸雄
- 西野 正志
- 畠山 和正 (新)
- 藤井 洋一 (新)
- 松山 力

支部大会で選出された支部委員の皆さんです

6月26日、久しぶりにカラオケを楽しむ会が「多喜」で開かれました。盛りの初め、多喜の参加者もあり、大盛り上がりでした。事務局は、多数の参加者を募集しています。



7月3日、青森県母親大会が開かれました。500人以上の参加がありました。年金者組合は駐車場係りの7人を派遣しました。



火災警報器ご購入の皆さんへのお知らせ

火災警報器斡旋販売の際は多くの組合員様にご購入下さいましてありがとうございました。説明書では「定期的なテストのお願い」で1カ月に1度のテストを奨めています。電池寿命は約2年です(実際にはもっと長くもつようです)是非テストをお願いします。警報音が弱く感じられたら直ぐに電池を交換されるようお願いいたします。電池は「アルカリ乾電池9V形006P型」でホームセンター、電気店で購入してください。(実物を持参すると良い)

三八支部共済会担当 長倉 志郎

活動日誌

- 6月24日(金) 消費税街宣
- 25日(土) 八戸医療生協総代会
- 26日(日) カラオケを楽しむ会(多喜)
- 28日(火) うみねこ班会
- 7月 3日(日) 県母親大会(江陽中)
- 6日(水) 第1回三役会議(組合事務所)
- 7日(木) 第1回執行委員会(組合事務所)
- 9日(土) 地労連大会 6・9行動
- 11日(月) ちぎり絵講習会(女性部)
- 13日(水) 原水禁世界大会学習会
- 16日(土) カラオケを楽しむ会(多喜)
- 19日(火) 全国高齢者大会三八実行委員会
- 20日(水) 支部ニュース239号発行

活動予定

- 7月22日(金) 県本部定期大会
- 25日(月) 消費税街宣
- 26日(火) うみねこ班会
- 30日(土) 科学者会議核燃シンポ(市公民館) 1時半
- 8月 2日(火) 原水禁世界大会壮行会
- 6日(土) ヒロシマの日行動 2時
- 8日(月) 第2回三役会議
- 9日(火) ナガサキの日行動 5時半
- 9日(火) 第2回執行委員会(組合事務所)
- 9日(火)~11日(木)「サダコと折り鶴」展まちの駅
- 20日(土) はちのへ九条の会講演会

年金者組合三八支部ニュース

第239号 2011年7月20日
発行責任者 高橋 靖昌 (三八支部委員長)
Tel 0178 (43) 8249
〒039-1166 八戸市根城7-7-19

6年間で20万人に情熱いっぱい

全国大会に出席して

支部副委員長 小谷地婦美子

6月16、17日の2日間、熱海の後楽園ホテルで全日本年金者組合の全国大会が開催されました。青森県から4人の代議員が参加しました。

ホテルの前に青い海が広がり、白いホテルが立ち並ぶ素晴らしい眺めでしたが、津波が来たら一変してしまいうるうらなと思えました。

大会は、6年間で20万人を達成し、質量ともに強い組合をめざすために、力を合わせようという力強い提案と、震災被災の組合員・地域の救援・復興支援、脱原発・エネルギー政策の転換を求めるということが中心になりました。

2日間にわたり33人(29県・発言通告者43人)の発言があり、活発な質疑討論に、高齢者とは思えない情熱を感じました。女性代議員が今までで一番多いということもあって、初めての大会でしたが、割とリラックスして会議の進行についていくことができました。発言の一部を紹介して、大会の雰囲気少しでも伝えられたいと思います。



全国大会青森県代表団 4名の記念撮影
(右から2人目が小谷地副委員長)

岩手県(支部長) … 救援金に感謝。組合員に届けたら感激して、家族が加入した。

福島県(書記長) … 1500人位被災し、1300人位に救援金を届けた。修正意見として、運動方針案の「東日本大震災、原発関連のとりくみ」を「原発事故」と明確に表記する。冒頭に「原発ゼロをめざして」と入れることを提案。放射線は恐ろしく憎い。しかし、全国の仲間の激励に励んで、力強く復興していくことを誓う。

茨城県 … 年金学校を県本部主催で開催。受講生54名。年金相談できる人を育て、どこでも相談会を開きたい。又、学校を開きたい。

埼玉県 … 全労連共済は支部財政のポイント。「年金うたごえ喫茶」「写真サークルの写真展」を市の広報に載せている。写真展には1,400人が来場。

大阪府 … 組合費についての意見。各地まちまち組合費を20万の組織を展望するためにも「安く分りやすく」「負担感が少なく、透明性のある」組合費にする必要性がある。「全組合員一律定額制」又は「年金種類別定額制」に移行する議論を開始すべき。

神奈川県 … 20周年事業として「共同墓所」建設を決定。申し込み230人。この秋完成予定。NHKの放映が神奈川県に大きく影響を与えた。

第1回支部執行委員会 楽しみ重視の仕事分担に

第1回執行委員会が7月7日に開かれました。1年間の方向を話し合い、仕事の分担を決めました。楽しみを重視した活動を進め、一回りも二回りに奮闘することを確認しました。

同封した年金パンフをお読み下さい。
全日本年金者組合がこのほど発行したものです。支部は、近日中はこのパンフを使用した学習会を開催する予定です。(一部50円で組合員以外の人に販売しています。)

支部役員と担当部署

執行委員長

高橋 靖昌 (組織・共闘・共済・新聞)

執行副委員長

小谷地婦美子 (組織・会計・女性)

書記長

佐藤 正博 (組織・共闘・レク・サークル)

書記長

兼田 正 (組織・新聞・学習)

執行委員

一山 正子 (女性・会計・レク・サークル)

木下 健次 (組織・共闘)

小倉 春雄 (共闘・レク・サークル)

清川 仁志 (レク・サークル)

清川 昭司 (署名・レク・サークル)

長倉 志郎 (共済・新聞)

新岡 武信 (共闘・共済・新聞)

廣瀬 郷美 (女性)

菊池 高晴 (署名・新聞)

阿部 耕一 (学習・レク・サークル・相談)

矢代 晶子 (女性・会計)

坂本 稔三 (清川 敏)

山本 和子 (中野 勝郎)

聞いてよ

半ばは自己の幸せを
半ばは他人の幸せを

菊池 高晴

年金者組合には「楽しみ七分、活動三分」というモットーがある。これと相通じる言葉が少林寺拳法にもある。

「半ばは自己の幸せを半ばは他人の幸せを」という言葉である。これは、「自分の幸せだけでなく、他人の幸せも願う生き方ができる人間になれ」という開祖「宗道臣」の教えである。少林寺拳法をやるようになって7年が過ぎたが、今まで続けてこられたのは、この教えが私の心はずっと響き続けていたからである。

少林寺拳法と聴けば「ああ、映画でもよく見る中国のあれ」とほとんどの人が勘違いする。実際は全く別物で1947年に宗道臣が、日本において敗戦で混乱する社会状況を見て、志のある若者を集め、道を説き正義感を引き出し自信と勇気を行動力を養おうとしたが、なかなかうまくいかず、人を集めるために拳技も取り入れるようになったものである。今では、技と教えが体系的に整理され修行に生かされている。現在は、世界37ヶ国に普及し、創始以来170万人以上の人が愛好している。

少林寺拳法には、技術だけでなく理論など学科として学ぶ場がある。これは他の武道と大きく異なる点である。その他に教えを学ぶ鎮魂行というものもある。ただ技術的に強くなればよいということだけでなく、心と体とともに鍛えるというのが特徴である。この他にも、「相手を殺さず活かす」、「自分から攻撃しない」、「鍛え合共成長する」などの特徴もあり、私にとつては人間としての生き方を学ぶ場にもなっている。持ち前のセンスの悪さからか技はさっぱり上達しないが、毎日汗をかいている。

さて、年金者組合員としての自分はどうだろうか。あまり活動できず、楽しみ7分だけで終わっている状態である。皆さんに迷惑をかけているなど反省している。今年は、また執行部の一員となったので、余り気負わず、できる範囲で、少しでも頑張ればと思っている。